

平成23年度 第5回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成23年12月13日(火) 13:30~15:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 9名(欠席2名)
事務局 中央公民館長、館長補佐、管理係長、分館主査 10名
- 4 傍聴者 0名
- 5 配布資料 (1) 平成23年度第4回公民館運営審議会会議要録・・・・・・・・資料1
(2) 平成23年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・・・・・・資料2
(3) 公民館講座(平成24年度実施予定)のための意見交換会実施報告書
・・・・・・・・資料3
(4) 仲町公民館 放射線測定結果・・・・・・・・資料5
(5) 『こだいら公民館だより 第122号』・・・・・・・・資料6
(6) 『社会教育法』の一部改正関係資料・・・・・・・・資料7
- 6 次第 (1) 開会
(2) 配布資料の確認
(3) 館長報告
(4) 平成23年度公民館学級・講座の実施状況について(資料2)
(5) 公民館講座のための意見交換会実施報告について(資料3)
(6) 第52回関東甲信越静公民館研究大会について
(7) 仲町公民館の空間放射線量について(資料5)
(8) 社会教育法の一部改正について(資料7)
(9) 第49回東京都公民館研究大会について
(10) その他
(11) 閉会

会議の概要

1 開会

2 配布資料の確認

3 館長報告

(1) 平成 22 年度決算額について

市議会 12 月定例会にて、「平成 22 年度小平市一般会計歳入歳出決算の認定について」が可決された。

(2) 市議会 12 月定例会 一般質問について

公民館に関して、以下の一般質問があった。

- ・「地域センター等公共施設の設備を充実させてほしい」

(3) 教育委員会委員任命等について

10 月 1 日の教育委員会臨時会において、2 名が新たに任命された。

4 平成 23 年度公民館学級・講座の実施状況について

資料 2 より説明。

主なもの〈抜粋〉

・鈴木公民館まつり

今年度は、特にまつり開催にあたり、実行委員会自ら、小中学生や公民館利用者等、幅広い地域住民を対象に、災害に関するアンケートを実施し、集計した。さらに、実行委員会は、鈴木公民館周辺を歩き、防災関係の設備等を確認し、地域の防災マップを作成した。アンケート調査の結果と地域の防災マップは、まつり当日に展示し、多くの人の関心を集めた。この活動は、地域の人が自らの防災意識を高めることを目的に、まつり終了後も続いている。〈鈴木〉

・市民講座「地域防災計画 i n 大沼」

「防災まち歩き」と題し、講座の中で、大沼公民館周辺地域の避難所やいっとき避難場所を歩いて回り、そこにある消火栓や消化器の場所、防災倉庫の中の備蓄品を確認した。〈大沼〉

・大沼公民館まつり

1月21、22日の大沼公民館まつりは、例年の利用団体の成果発表に加え、今年度は、小平第六中学校の箏曲部、吹奏楽部を招いての演奏会、また、小平第六中学校の地域活動部の生徒によるボランティア参加を予定している。(大沼)

5 公民館講座のための意見交換会実施報告について

資料3より説明。

(質疑応答)

委員 わかりやすい名称に変更したが、参加者の増加にはつながらなかった。今後はさらに、公民館運営審議会も、意見交換会のあり方について考えていきたい。

事務局 利用を広げるためには、公民館利用者以外の方の幅広いニーズの把握が必要だと考えている。広く意見を聞くことができる方法や機会を工夫したい。

委員 今回の公民館まつりは、さまざまな団体に参加を呼びかけて実施している。公民館職員には、講座の企画運営等を含めて、さらに地域とのつながりをもつ努力をしてほしい。

6 第52回関東甲信越静公民館研究大会について

日時 平成23年11月18日(金)12:30~16:30

場所 茨城県つくば市「ノバホール」

委員より報告。

社会教育研究大会と合同ということもあり、講演の内容が散漫なところがあった。さまざまなパネラーの提案を聞くことができたが、参加者どうしの意見交換の時間がなかったことは残念だった。

7 仲町公民館の空間放射線量について

資料5より説明。

8 社会教育法の一部改正について

資料 7 より説明。

9 第 49 回東京都公民館研究大会について

日時 平成 23 年 12 月 11 日（日）10：00～16：00

場所 東京都立多摩社会教育会館

委員より報告。

・第 1 課題別集会（「地域を元気にするための公民館の役割」：東村山市）

各市の公民館の特徴について発表し、意見交換をした。他市の事業の紹介があったが、公民館事業としては疑問が残るものだった。小平市は、特に 11 館の分館がそれぞれ盛大に公民館まつりを開催していることについて紹介し、公民館活動の活発さをアピールできた。

・第 3 課題別集会（『震災後』の社会と公民館の課題」：国立市）

事例報告は学ぶことが大変多かった。外国人のための多言語ステッカー、防災パンフレットの作成や、3 月 11 日の地震の際には、公民館を外国人のための相談窓口として開放していたという報告が印象に残った。震災以降のボランティア活動の報告もあり、さまざまな活動をしている人が、一緒に活動することで、つながりが広がるのだと感じた。

・第 4 課題別集会（「ホームページの活用」：都公連職員部会）

神奈川県相模原市光が丘公民館のホームページ作成委員会から報告があった。立ち上げからの苦労や、注目を集めるための工夫などが紹介された。助言者からは、ホームページは、公民館から情報を発信するためのツールであること、コンテンツを充実させることの重要性が示された。公民館は、幸せをはぐくむものであり、人々の絆をつくるものであり、学びをはぐくむ素であるというコメントが印象に残った。

・第 5 課題別集会（「公民館はじめの一步」：都公連研修会）

少子高齢社会という極めて困難な社会情勢に直面している今も、公民館の設立趣旨「平和・人格向上・課題解決」は不変である。それぞれの地域にあった、親しまれる公民館をめざし、一般市民の感覚をいかに反映させるかというところに、今後期待したい。

10 その他

・公民館あり方検討について

現在の進捗状況について報告した。

1 1 閉会

この後、委員は、提言をまとめるため、『家庭と地域における地震対策』（小平市なるほど出前講座「デリバリーこだいら」）を受講した。

次回は、1月31日（火） 13：30 から開催する。